1　北海道浦河高等学校キャリア教育の全体計画（平成２８年度～平成３０年度　３ヵ年の全体計画）

# 校訓　「自主」「敬愛」「努力」（目指す生徒像）の実現

本校生徒の課題：一歩先もう一歩先へ（One More Step）と自らを進めていこうとする意志と、実行力

## カリキュラムポリシー　学校教育目標

**物事をよく見て理解し、自ら考え正しく判断するとともに、主体的・協働的に探究し行動することができる生徒。**
＜必要な資質・能力＞①関心・意欲・態度　②知識・技能　③思考力、判断力、表現力
■何を知っているか、何ができるか（社会の様々な場面で活用できる体系化された知識・技能）
■知っていること・できることをどう使うか（問題発見・解決のプロセスの主体的選択）
■学びに向かう力（メタ認知力）

**自他の人権や生命を敬い尊重する精神を持ち、多様性を認め合いよりよい人間関係を形成することができる生徒。**
＜必要な資質・能力＞④想像力　⑤協働性（対話力）　⑥社会性
■どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（多様性を尊重する態度、互いの良さを生かして協働する力、リーダーシップ、感性、思いやり等）

**望ましい自己実現のため不断に資質・能力の向上に努め、豊かな地域づくりに参画しようとする意欲を持つ生徒。**
＜必要な資質・能力＞⑦達成感、満足感　⑧自己肯定感、自己有用感　⑨実行力、継続力、体力
■どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（主体的に学習等に取り組む態度、自己の感情や行動を統制する能力）（持続可能な社会づくりに向けた態度）

## ＜系列ポリシー＞

**人文科学系列及び自然科学系列の教育課程で特に重視**
人文科学系列の趣旨　：我が国及び世界の国々の歴史や文化、社会などについて理解を深めるとともに、国際社会に主体的に生き、国際貢献に寄与する態度と能力を育てる。
自然科学系列の趣旨　：数学の基本的な概念や原理・法則及び自然の事物・現象などについて理解を深めるとともに、数学的に考察し表現したり、科学的に探究したりする態度や能力を育てる。

**健康・生活系列の教育課程で特に重視**
健康・生活系列の趣旨　：スポーツ及び家庭生活、社会福祉に関する知識や技術を身に付けるとともに、自ら健全な心身の育成に努め、社会福祉の増進に寄与する態度や能力を育てる。

**情報・ビジネス系列及び地域・文化系列の教育課程で特に重視**
情報・ビジネス系列の趣旨　：情報及び商業に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けるとともに、経済社会の発展や社会の情報化の進展に主体的に対応する態度と能力を育てる。
地域・文化系列の趣旨　：地域の自然環境などについて理解を深めるとともに豊かな情操を養い、地域の発展や活性化に必要な能力や、芸術文化の創造に寄与する態度を育てる。

## カリキュラムマネジメント

### キャリア教育

***本校キャリア教育の目標***　**時代の変化にも対応し、主体的に社会に貢献し、自分の生き方を見つけていく*土台* を身に付ける（H26～）**

***本校キャリア教育の重点（土台）***　**自助・共助　（Self-help Mutual-help）**

**自　助**＝自らの命や生き方などを支え続ける資質・能力＝**「自主」**、**「努力」**の一つの在り方
**共　助**＝多様な他者を理解し支えたり、協調したりする資質・能力＝**「敬愛」**の一つの在り方

### 手法

**アクティブ・ラーニングの手法で**
主体的・対話的で深い学び

**ＩＣＴを積極的に活用して**
＜情報活用能力＞　*指定事業*

**地域素材・人材の活用を通して（浦河･北海道を活かす）**

地域に開かれた教育課程

**○防災・減災**に係る資質・能力の向上
・地域と連携した避難、防災訓練　・避難所体験・防災リーダーの育成
**○幼・小・中・高連携**による相互の資質・能力の向上
・外国語活動、外国語学習に係る支援・総合的な学習の支援　・放課後学習支援
・ＩＣＴ活用に関する情報交換　・地域のスポーツ指導支援　など
**○地域課題**に資する資質・能力の向上
・地域創生等のためのプランニング　・国際理解（外国語活動）
・地域の重点的取組への参画　・地域資源（ジオパークなど）の調査・活用
・福祉科目の充実（ボランティアへの参加）・生産、加工、販売に係る体験
**○政治的教養**の向上
・選管との連携による啓発、体験活動
・自ら情報収集、判断、投票行動→公の幸福に資する　など

**教科・科目、行事等横断的に育む取組**

横断的教育課程

○　**体験活動を重視**し自他を支える知恵（生きて働く知識・技能）の習得
○　**主体的・対話的で深い学び**の実践
○　**ＩＣＴの活用**による情報活用能力の育成
○　**教科･科目間の連携単元の設定**→シラバスに記載
○　教科・科目で横断的・体系的教育課程が編成されるよう、単元配列表を作成
○　全ての教科・科目、行事などに、**目標**を設定→教科・科目はシラバスに記載
・「自助」、「共助」を下支えするどんな**能力**を身に付けさせるのか
・どのような**素材や場面**を通して身に付けさせるのか
・何ができるようになるまで（具体的な**生徒の姿**で評価）身に付けさせるのか

包括的連携協定の活用、支援推進協議会の支援

### 評価・改善

**目指す生徒像の評価方法、評価場面**　＝　**課題研究の取組、成果で**

**１年「産業社会と人間」→２年「課題研究」（総合的な学習の時間）　→３年　「課題研究」**
○　目指す生徒像を踏まえたねらいの明確化→評価の観点、評価場面、評価方法の改善
○　目指す生徒像実現に向けたカリキュラムマネジメント
**○課題研究＝調べ学習からの脱却→探究型、活用型、継続型の学習への転換**
＜社会的価値のあるテーマ設定＋地域課題等の解決に資する成果＞

**コア・ルーブリック**　＝　**学校教育目標　①～⑨をルーブリックで４段階評価**

教科・科目　総合的な学習（探究）の時間
行事　各分掌　年次　等の分野における
自己評価に位置付ける

学校経営計画　シラバスに評価の観点や目標
指標を記載→中間・期末に評価会議→第３者評価会議で学校評価

## キャリア教育で求められる基礎的・汎用的能力

| | 学校教育目標との関連 |
|---|---|
| **人間関係・社会形成能力** | |
| (1)　多様な考え、価値観を理解し、相手の考えを尊重した上で自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。 | →②③④ |
| (2)　自分の置かれている状況を理解し､それを受け止めた行動を行うことができる。 | →⑥⑨ |
| (3)　積極的に社会に参画する力。 | →①⑤⑦⑧ |
| (4)　多様な他者と力を合わせ、社会の中で自己の役割を果たすことができる。 | →⑤⑥⑨ |
| **自己理解・自己管理能力** | |
| (5)　自分の能力や可能性について客観的かつ肯定的に理解することができる。 | →⑦⑧ |
| (6)　社会の要望や状況に応じ、自らの思考や感情を律することができる。 | →③⑥ |
| **課題対応能力** | |
| (7)　日々直面する様々な課題を発見し、それを克服する方法を分析、計画的にそれを実行し、試行錯誤しながらも解決に導くことができる。 | →②③⑨ |
| **キャリアプランニング能力** | |
| (8)　多様な生き方に関する様々な情報（仕事、学校、進路決定の方法、社会情勢、労働観、求められる資質など）を収集することができる。 | →②③ |
| (9)　収集した情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断して自分の生き方を選択していくことができる。 | →①③⑨ |
| (10)　自分で行った選択を社会環境などに応じ、適切に軌道修正することができる。 | →①③④⑥⑨ |

**体験を通して人に繋がる力、人を繋げる力を育成**

## キャリア教育を推進する組織構成

総合学科推進委員会　―　**キャリアガイダンス部**　各部、年次等と連携し推進

| 総務部 | 教務部 | 生徒指導部 | 進路指導部 | １年次 | ２年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○広報、防災、地域連携活動に係るコーディネート など | ○体系的、横断的教育課程のコーディネート　など | ○自己指導能力育成、生徒の主体性育成に係るコーディネート など | ○自己理解、社会・職業理解に係るコーディネート　など | ○宿泊研修におけるキャリア教育の設定<br>○「産社」→「課題研究１」→課題研２」における３年間を見通した全体計画の策定<br>○学習成果発表会の企画　など | | |